ドイツ経済政策視察

「ローカル・アベノミクス」の実行に向けて

伊藤達也（党中小企業・小規模事業者政策調査会会長）　報告

党中小企業・小規模事業者政策調査会（会長・伊藤達也衆院議員）が安倍晋三総理に提言した「ローカル・アベノミクス」。地域を支える中小企業や小規模事業者にもアベノミクスの効果を浸透させ、地域経済に好循環をもたらす新たな成長プランとして、各方面から注目を集めている。これを実行するために同調査会が行ったドイツへの視察について、伊藤会長に寄稿してもらった。

ドイツの経済復興を牽引する強い中小企業

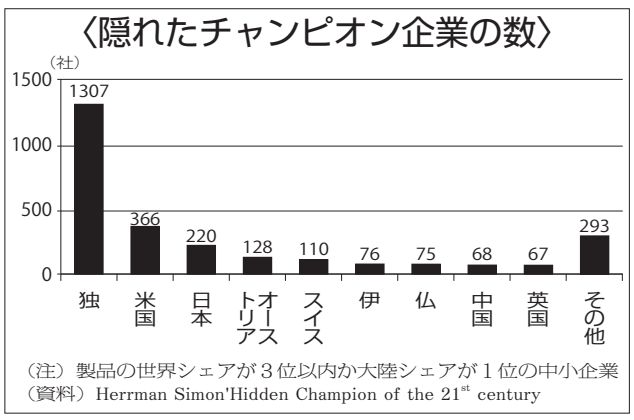
7月7日出発、11日帰国の日程で、私たち党中小企業・小規模事業者政策調査会は、政策提言した「ローカル・アベノミクス」の実行に当たって、先進事例であるドイツを視察した。

東西統一後のドイツは大きく景気が落ち込み「欧州の病人」と呼ばれていたが、製造業の輸出主導により急回復し、今では「ドイツの1人勝ち」と呼ばれるほどの強力な経済力になった。ドイツでは1998年以降、法人税を20％以上引き下げたが、この間税収は約1兆円伸び、2015年には財政均衡し赤字国債発行を46年ぶりに停止する見通しである。経済復興の牽引役は中小企業、特に特定分野で世界トップのシェアを持つ「隠れたチャンピオン」だ。こうした強い中小企業の数はドイツがずば抜けて多い。製造業の輸出のうち中小企業は20％、しかも家族的経営が95％を占める。「隠れたチャンピオン」を生み出す政策的秘訣はどこにあるのか、それを探ることが今回の目的であった。

フラウンホーファ研究所で意見交換する調査会訪問団

ビジネスを興す意欲の高い公的支援機関

フラウンホーファ研究所（以下、研究所）は年間予算19億ユーロ（約2700億円）、全国67研究所、職員2万3千人を有する欧州最大の応用研究機関であり、約3分の1が企業からの受託収入である。医療機器システム開発のイェナバルブ社は大学教授の発想で研究所が開発した製品を製造し、欧米で着実に売り上げを伸ばしている。工業用洗浄機製造のジッペル社は研究所の技術提案を受け成長している。経済振興公社は、企業と研究機関をつなぐ業務や海外販路開拓などを行っており、地方公共団体とともに海外の展示会でブースを確保し、中小企業の出展を後押ししている。これらの製品開発や販路開拓などの機能を盛り込んだ産業クラスターが、バイエルン州では19か所ある。同州レーゲンスブルク市では市の職員が経済振興公社を兼任しクラスター業務を行っていた。



（注）製品の世界シェアが３位以内か大陸シェアが１位の中小企業
（資料）Herrman Simon'Hidden Champion of the 21st century

日本の地方都市のモデルとなる　レーゲンスブルク市

レーゲンスブルク市は人口15万人であるが1人当たりGDPはドイツ国内1位と豊かな町である。完全雇用状態にあり人口は毎年1500人ずつ増えている。大学が3つあり、5人に1人が学生であり卒業後市内の企業に就職している。女性、特に若い女性が圧倒的に多い。日本創成会議で消滅の危機にあるとされた日本の地方都市の解決モデルになるのではないか。

おわりに

ドイツは日本と同様、ものづくりの国であり、人口減少・少子高齢化が進んでいる。だが政策次第で持続的な経済発展が可能であることをドイツは証明している。

■視察スケジュール
7月8日　シューレッター社
　　マックスプランク・イノベーション
　　BMW
　　日独産業協会
　　ゲアハルト・ヴィースホイ理事長
9日　バイエルン州政府経済省
　　フラウンホーファ研究所
　　イェナバルブ社
10日　ジッペル社
　　レーゲンスブルク市政府

■訪問団　メンバーは右から山際大志郎経済産業部会長、山口泰明会長代理、伊藤達也会長、宮下一郎事務総長、福田達夫事務局次長

自由民主党は、多くの党員の皆さんによって運営されています。
党費というかたちで資金的に支えていただいたり、選挙のときには、応援をお願いしています。さらに、楽しいイベントや勉強会もあり、総裁を選ぶ投票にも参加していただいています。

入党していただいた方には…

●総裁選挙の選挙権があります!
総裁選挙の前年と前々年の2年継続して党費を納めていただいた党員は、総裁選挙の有権者になります。

●毎年、機関紙「自由民主」党員版をお届けします!
党大会の模様や一年間の運動方針などを掲載した、機関紙「自由民主」党員版をお届けします。（家族党員を除く）

★入党資料請求は自民党ホームページより　www.jimin.jp

※自民党の目的に賛同する満18才以上の日本国民で、党則の定めるところにより忠実に義務を履行するとともに、国民大衆の奉仕者として積極的に党活動に参加するものをもって党員といたします。

―――党員の種類と入党の手続き―――

一般党員　―自分の力で自民党を支えたい―
◎「入党申込書」に氏名、住所、電話番号などを記入し、党費（年額4,000円）を添えて最寄りの支部にお持ちください。
◎お申し込みには、紹介党員が必要です。お知り合いに党員がいない場合や支部の所在がわからない場合には、ご地元の支部連合会にご連絡ください。

家族党員　―家族も一緒に応援したい―
すでに党員になっている方のご家族が入党する場合や「自分と一緒に家族も入党させたい」という方のために家族党員制度（党費は年額2,000円）があります。家族党員として入党するには、同一世帯に一般党員1名が必要です。

特別党員　―財政的な支援もしたい―
「自民党のために財政的にも支援したい」という方には特別党員制度があります。入党の手続きは一般党員同様ですが、党費については年額20,000円以上で自由に決めていただけます。

自民党の挑戦に、あなたの力を。

お問い合わせはご地元の支部連合会までお寄せ下さい。